立ちどまらない保険。

MS&AD
INSURANCE GROUP

MS＆AD　ESG説明会

レジリエントでサステナブルな社会の実現に向けて

2020年12月18日(金)

本日のプログラム

ＭＳ＆ＡＤのＥＳＧ説明会

第１部

15:00-15:20　ＭＳ＆ＡＤのサステナビリティ取組み

15:20-15:35　気候変動影響定量評価サービス
（Jupiter社との協働）

15:35-15:50　Ｑ＆Ａ

第２部　コーポレートガバナンス（有馬取締役・樋口ＣＦＯ対談）

15:50-16:40　対談・質疑応答・意見交換

Ⅰ. MS&ADのサステナビリティ取組み

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
代表取締役専務執行役員　グループCFO
樋口　哲司

サステナビリティ取組みの全体像

2030年に目指す社会像

レジリエントで サステナブルな社会

社会的課題

社会をとりまく多様なリスク

安定した人々の生活

活発な事業活動

MS&ADのビジネスモデル

安心・安全の提供

グローバルな保険・金融サービス事業

５つの事業ドメイン

- 海外事業
  - 海外保険事業
  - 国内生命保険事業
  - 金融サービス事業
  - リスク関連サービス事業

リスクを見つけ伝える

経済的な負担を小さくする

リスクの発現を防ぐ・影響を小さくする

価値創造の仕組み

社会との共通価値を創造(CSV)

- ■新しいリスクに対処する
- ■事故のない快適なモビリティ社会を作る
- ■レジリエントなまちづくりに取り組む
- ■「元気で長生きしを支える
- ■気候変動に対応する
- ■自然資本の持続可能性向上に取り組む
- ■「誰一人取り残さない」を支援する

価値創造の取組み

社会の信頼に応える品質

- ■高い品質で社会の信頼に応える
- ■誠実かつ公平・公正な活動
- ■人権を尊重した活動と対話
- ■環境負荷低減取組を継続する
- ■PRI（責任投資原則）に則った投資活動

社員がいきいきと活躍できる経営基盤

- ■ダイバーシティ＆インクルージョンの推進
- ■ヨ[illegible]び[illegible]し、成長[illegible]続[illegible]
- ■健康経営
- ■透明性と実効性の高いコーポレートガバナンス

価値創造を支える基盤

統合的思考による経営

2030年に目指す社会像

レジリエントで
サステナブルな社会

Vision 2021
（2018年度～2021年度）

CSV×DXで更なる成長へ

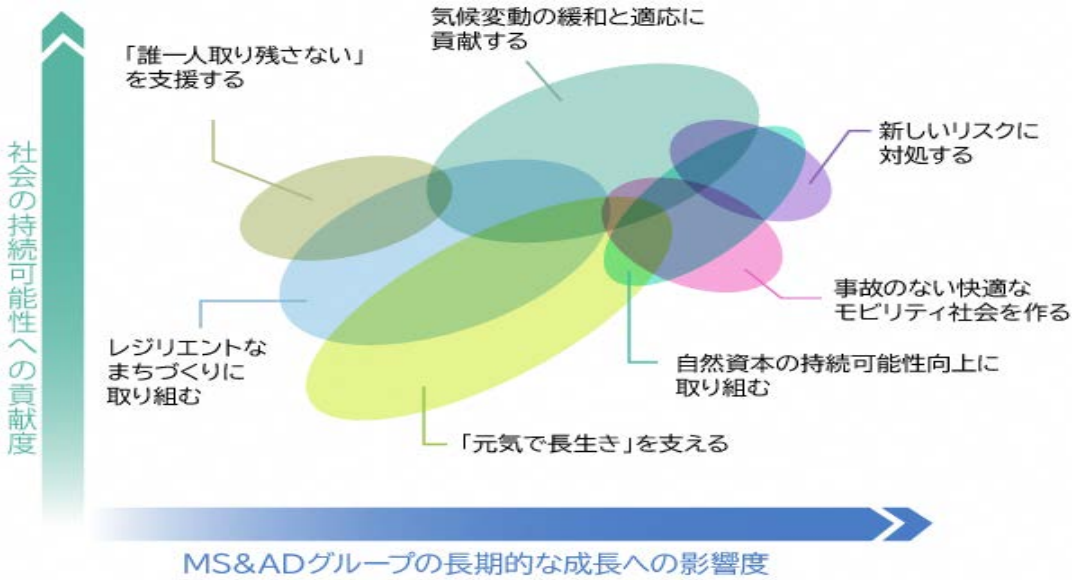
CSV※に基づく経営の展開

2015年

価値創造ストーリーの構築

2010年

Mission, Vision, Valueの策定



※CSV：Creating Shared Value

社会との共通価値の創造(CSV)

2030年に目指す社会像

レジリエントで
サステナブルな社会

社会的課題

社会をとりまく
多様なリスク

安定した人々の生活

活発な事業活動

MS&ADのビジネスモデル

安心・安全の提供

グローバルな保険・金融サービス事業

５つの事業ドメイン

- 国内損害保険事業
- 国内生命保険事業
- 金融サービス事業
- リスク関連サービス事業

海外事業

リスクを見つけ伝える

経済的な負担を小さくする

リスクの発現を防ぐ・影響を小さくする

社会との共通価値を創造(CSV)

- ■新しいリスクに対処する
- ■事故のない快適なモビリティ社会を作る
- ■レジリエントなまちづくりに取り組む
- ■「元気で長生き」を支える
- ■気候変動の緩和と適応に貢献する
- ■自然資本の持続可能性向上に取り組む
- ■「誰一人取り残さない」を支援する

CSV × DX

で加速

社会の信頼に応える品質

- ■高い品質で社会の信頼に応える
- ■誠実かつ公平・公正な活動
- ■人権を尊重した活動と対話
- ■環境負荷低減取組を継続する
- ■PRI（責任投資原則）に則った投資活動

社員がいきいきと活躍できる経営基盤

- ■ダイバーシティ＆インクルージョンの推進
- ■自ら学び考え、チャレンジし、成長し続ける社員に
- ■健康経営
- ■透明性と実効性の高いコーポレートガバナンス

CSV取組とデジタルトランスフォーメーション

CSV × DX

～国内、アジア、そして、世界へ～

レジリエントでサステナブルな社会のための7つの重点取組み課題

社会との共通価値を創造(CSV)

- ■新しいリスクに対処する
- ■事故のない快適なモビリティ社会を作る
- ■レジリエントなまちづくりに取り組む
- ■「元気で長生き」を支える
- ■気候変動の緩和と適応に貢献する
- ■自然資本の持続可能性向上に取り組む
- ■「誰一人取り残さない」を支援する

デジタル技術の取り込み

ビッグデータ

モバイル

AI(人工知能)

RPA(ロボティクス)

Block ChAIn

ブロックチェーン

CSV取組を実践するための仕組み

CSV × DX

～国内、アジア、そして、世界へ～

社員一人ひとりの意識改革

サステナビリティコンテスト2020

応募総数：354 組
（うち海外17組）

デジタルイノベーション チャレンジプログラム2019

未来を創る18の先進デジタル技術 × 2025年の有望成長市場(6領域)

応募総数：約1,200件

サステナビリティコンテスト2020　入賞取組

- 国内外より、**354**件の応募
- 最優秀賞は畜産業界の課題をDXとスタートアップとのパートナーシップで解決する取組み

受賞企業	取組テーマ	関連するSDGs
三井住友海上	公的農業共済および最先端IoT技術と連携した、畜産業界が抱える積年の課題解決	8 働きがいも経済成長も / 9 産業と技術革新の基盤をつくろう / 17 パートナーシップで目標を達成しよう
あいおいニッセイ同和損保	「画像解析フォレンジック」による先進的な事故原因調査	3 すべての人に健康と福祉を / 9 産業と技術革新の基盤をつくろう / 11 住み続けられるまちづくりを
三井ダイレクト損保	「効果的なＷＥＢ募集ノウハウ」の提供	8 働きがいも経済成長も / 9 産業と技術革新の基盤をつくろう / 17 パートナーシップで目標を達成しよう
三井住友海上あいおい生命	明日の日本を創る企業の持続的な発展を支える健康経営普及活動を通じた法人生保提案	3 すべての人に健康と福祉を / 8 働きがいも経済成長も / 17 パートナーシップで目標を達成しよう
MSIGタイ	「持続可能な農業センター」プログラムを通じて障がい者の自立した生活を支援	1 貧困をなくそう / 2 飢餓をゼロに / 10 人や国の不平等をなくそう
MS&ADインターリスク総研	米スタートアップと提携した世界最先端のTCFD向け気候変動リスク評価サービスの開発	11 住み続けられるまちづくりを / 13 気候変動に具体的な対策を / 17 パートナーシップで目標を達成しよう

サステナビリティコンテスト２０２０　最優秀賞

社会的課題

- 牛の死亡リスクによる畜産農家の経営悪化
- 年中無休の飼育管理が求められる畜産農家の厳しい労働環境
- 畜産は経験と勘が頼りのため、深刻化する担い手不足
- 大きな国庫負担のある公的農業共済の収支安定
- 時間を問わない呼び出しに伴う過酷な獣医師の労働環境

解決策

牛の健康状態をモニタリングする最先端IoT技術による首輪型センサーに牛の診療費を補償する保険をセットで販売

農業の総産出額 約9兆円

畜産業の総産出額 約3兆円

社会的インパクト

- 畜産農家の経営改善
- 畜産農家の労働環境改善
- スマート農業導入による未経験の新規就農者の増加
- 公的農業共済の収支改善による国庫負担の軽減
- 獣医師の労働環境改善

当社へのインパクト

- 加入率9割の公的共済との連携により畜産農家にアクセス
- 収入保険料12億円 (2025年度末見込)

- 畜産農家の経営改善×スマート農業技術
- 社会的課題解決でマーケット拡大

CSV × DX

CSV取組の進捗

解決に導くCSV取組事例	事業機会の創出	更なる成長に向けて
サイバーリスク対応商品	**デジタル社会の進展**	**新しいリスクに対処**
サイバーリスクから守られている法人・組織 約12,300社 約9,800社 2018年度 2019年度 契約増加率 前年度比 25.2%増 前年度比10.1%増 2018年度 2019年度	サイバー攻撃の高度化・複雑化 →外部のパートナーと協働で、多面的なサービスを展開	● 多面的サイバーセキュリティ ● シェアリングビジネスに関わる補償 ● テレワーク補償
テレマティクスによる安全運転支援サービス	**安全な次世代モビリティ**	**事故のない快適なモビリティ社会**
導入企業の支払保険金額の削減率※1 25.3% 36.5% 2018年度 2019年度 導入企業数※2 約2,800社 約1,400社 2018年度 2019年度	自動運転化・コネクティッド化 →新たなリスクの出現	● ドラレコ型自動車保険 ● テレマティクス自動車保険 ● 安全運転支援アプリ ● 次世代自動車保険の研究・開発

レジリエントでサステナブルな社会

※ 1「ささえるNAVI」導入前後の支払保険金比較　※ 2「スマNavi」、「F-ドラ」、「ささえるNAVI（Liteを含む）」導入企業数

価値創造を支える基盤

2030年に目指す社会像

レジリエントで
サステナブルな社会

社会的課題

社会をとりまく
多様なリスク

安定した人々の生活

活発な事業活動

安心・安全の提供

MS&ADのビジネスモデル

リスクを見つけ伝える

経済的な負担を小さくする

リスクの発現を防ぐ・影響を小さくする

グローバルな保険・金融サービス事業

５つの事業ドメイン

国内損害保険事業

国内生命保険事業

金融サービス事業

リスク関連サービス事業

海外事業

社会との共通価値を創造(CSV)

- 新しいリスクに対処する
- 事故のない快適なモビリティ社会を作る
- レジリエントなまちづくりに取り組む
- 「元気で長生き」を支える
- 気候変動の緩和と適応に貢献する

社会の信頼に応える品質

- 高い品質で社会の信頼に応える
- 誠実かつ公平・公正な活動
- 人権を尊重した活動と対話
- 環境負荷低減取組を継続する
- PRI（責任投資原則）に則った投資活動

社員がいきいきと活躍できる経営基盤

- ダイバーシティ＆インクルージョンの推進
- 自ら学び考え、チャレンジし、成長し続ける社員に
- 健康経営
- 透明性と実効性の高いコーポレートガバナンス

サステナビリティを考慮した事業活動

多様な人財の活躍

サステナビリティを考慮した事業活動

気候変動
「緩和」と「適応」

- 再生可能エネルギーの安定的かつ効率的な供給や活用の促進など脱炭素社会の実現に貢献
- 新設される石炭火力発電所の保険引受や投融資は原則行わない

自然資本
持続可能性の向上

- 自然資本と事業活動の持続可能な関係構築を目指して生物多様性の保全に努める

人権の尊重

- 人権を尊重した事業活動を行う
- 広範囲の人々の無差別殺傷につながるクラスター弾製造企業に係る保険引受や投融資は行わない

保険引受

社会や地球環境にマイナスの影響を及ぼす課題やリスクを考慮し、社会からの要請に応える商品・サービスを提供する

投融資

ESGを考慮し、中長期的な投資リターンの獲得とサステナビリティに関わる課題解決へ貢献

サステナビリティを考慮した保険引受

社会や地球環境にマイナスの影響を及ぼす課題やリスクを考慮し、社会からの要請に応える商品・サービスを提供する

保険引受におけるサステナビリティの考慮

社会や地球環境にマイナスの影響を及ぼす課題やリスクを考慮

- サステナビリティ課題への影響を事前確認するプロセスを導入

サステナビリティを考慮した事業活動
新設される石炭火力発電所およびクラスター爆弾製造企業について、原則新たな保険引受を行わない

社会からの要請に応える商品・サービスを提供

- 再生可能エネルギー事業の推進、CO2排出の削減につながる先進的な技術の開発・活用を支援する商品・サービスの提供

再生可能エネルギー事業に関するリスクを補償する商品
（メガソーラー総合補償プラン）
2019年度契約件数　**約7,100件**

ESGを考慮した投融資

ESGを考慮し、中長期的な投資リターンの獲得とサステナビリティに関わる課題解決へ貢献

ESG投融資の取組強化

投融資プロセスへの組込み

- ESG要素を配慮したプロセスの構築

対話の高度化

- 投資先企業や外部委託先との対話にESG要素を組み込む

インパクト投資※1の拡大

- グループベースでの取組みを検討

ESGテーマ型投資
収益性を前提とした、社会課題解決につながるテーマを持った資産等への投資

ESGインテグレーション
投資プロセスへのESG要素の体系的な組込み

投資先企業との対話実績※2
MS194社＋AD153社＝**347社**

2020年度上期新規投融資額　**95億円**
投融資残高**4,221億円**

※1 （社会的）インパクト投資とは、金銭的リターンと並行して社会や環境へのインパクトを同時に生み出すことを意図する投資
出所：GSG国内諮問委員会

※2 2019年7月～2020年6月

気候変動の緩和と適応

CO2排出量
2009年対比
△20.7%

2009年対比
△33.4%
総エネルギー使用量

紙使用量
前年対比
＋5.1%※

環境負荷低減取組

水災・地震への備え提案運動

地方創生包括協定ＢＣＰ策定

洪水頻度変化予測マップ

天候デリバティブ

cmap

気象情報アラートサービス

グリーンレジリエンス

再生可能エネルギー事業者の安定的な事業運営支援

気候変動に対応する商品・サービス

サステナビリティを考慮した事業活動

事業活動全体にわたり、環境および社会の調和を配慮

※　改元対応、商品の大幅改定のため増加

多様な人財の活躍：Ｄ＆Ｉ

活動　**女性部長の会**

- CEOとの対話や勉強会を開催
- ノウハウを共有しグループ間のシナジーを発揮

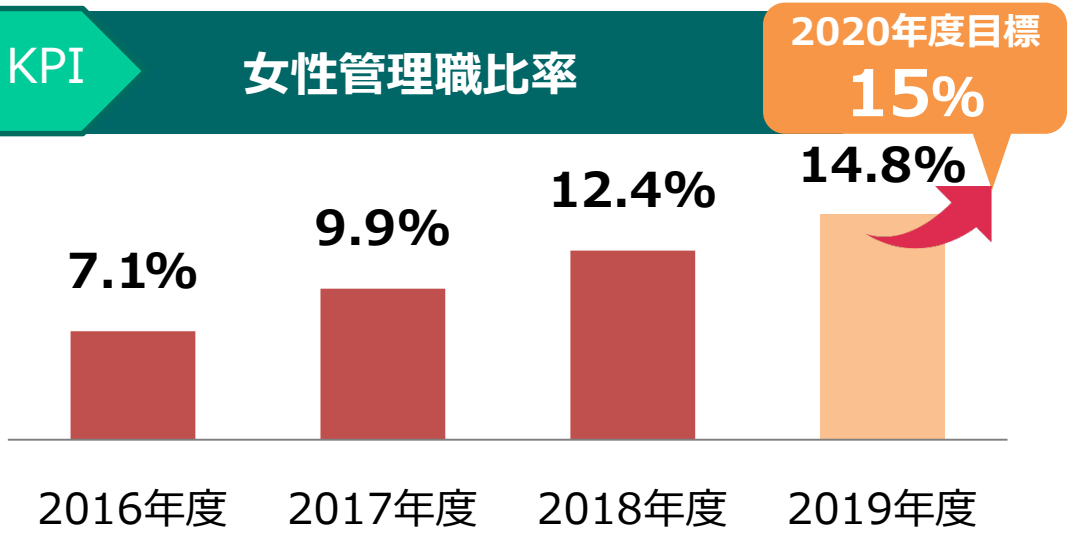
ニュース　**意思決定層の多様性**

社外取締役（2020年6月就任）

Rochelle Kopp
(ロッシェル・カップ)氏

- 北九州市立大学教授（経営戦略、人事管理）
- 日本の銀行における勤務経験あり
- 経営コンサルタントとしての、日本および米国における豊富な知識や経験

KPI　**女性管理職比率**



KPI　**男性育休取得率**

目標　**2019年度実績**

前年同水準以上：　64.6%

(63.9%)

（　）は2018年度実績

多様な人財の活躍：健康経営

活動　**リモートワークの推進**

- 在宅勤務やデジタルツールを活用して、コールセンターや損害サービスセンターもリモートワークを実施
- 勤務時間を変更できるシフト勤務や時間単位の有給休暇など、柔軟な働き方を推進

KPI　有給休暇取得日数

目標	2019年度実績
前年同水準以上	15.7日(15.6日)

KPI　社員満足度「いきいきと働く」

目標	2019年度実績
前年同水準以上	4.5ポイント※(4.3ポイント)

KPI　社員満足度「誇り、働きがい」

目標	2019年度実績
前年同水準以上	4.4ポイント※(4.4ポイント)

※6ポイント満点での全社員の平均

外部評価

経済産業省
「ダイバーシティ経営企業100選」
※1　※2

経済産業省・東京証券取引所
「なでしこ」
※1～※5

経済産業省・日本健康会議
「健康経営優良法人（ホワイト500）」
※3　※4

経済産業省・日本健康会議
「健康経営優良法人」
※2　※5

厚生労働省
「働きやすく生産性の高い企業職場表彰」最優秀賞
※1

政府・官公庁からの主な名種受賞歴

※1 MS、※2 AD、※3 MD
※4 MSA 生命、※5 MSP生命

内閣府
「女性が輝く先進企業表彰」
※1

総務省
「テレワーク先駆者百選」
※1

厚生労働省
女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」2段階目
※1

厚生労働省
「くるみん」
※1　※2

厚生労働省
「プラチナくるみん」
※1　※3

外部機関の評価

CDP Climate Change
Aリスト

CDP
DISCLOSURE INSIGHT ACTION
A LIST
2020
CLIMATE

Dow Jones Sustainability Indices（World/Asia Pacific）

Member of
Dow Jones
Sustainability Indices
Powered by the S&P Global CSA

FTSE Blossom Japan Index

FTSE Blossom
Japan

FTSE4Good Index Series

FTSE4Good

MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数※

2020 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

MSCI日本株 女性活躍指数※

2020 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

S&P JPX カーボン・エフィシェント指数

S&P/JPX
カーボン
エフィシェント
指数

ECPI Indices

ECPI
Sense in
sustainability

STOXX Global ESG Leaders Index

Member 2018/2019
STOXX
ESG LEADERS INDICES

※MS＆ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社のMSCIインデックスの組み入れ、およびMSCIロゴ、商標、サービスマーク、またはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社によるMS＆ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社のスポンサーシップ、推薦またはプロモーションを意味するものではありません。MSCIインデックスは、MSCIの独占的財産であり、その名称とロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標またはサービスマークです。

（2020年12月18日現在）

Ⅱ. Jupiterとの協業による「気候変動影響定量評価サービス」

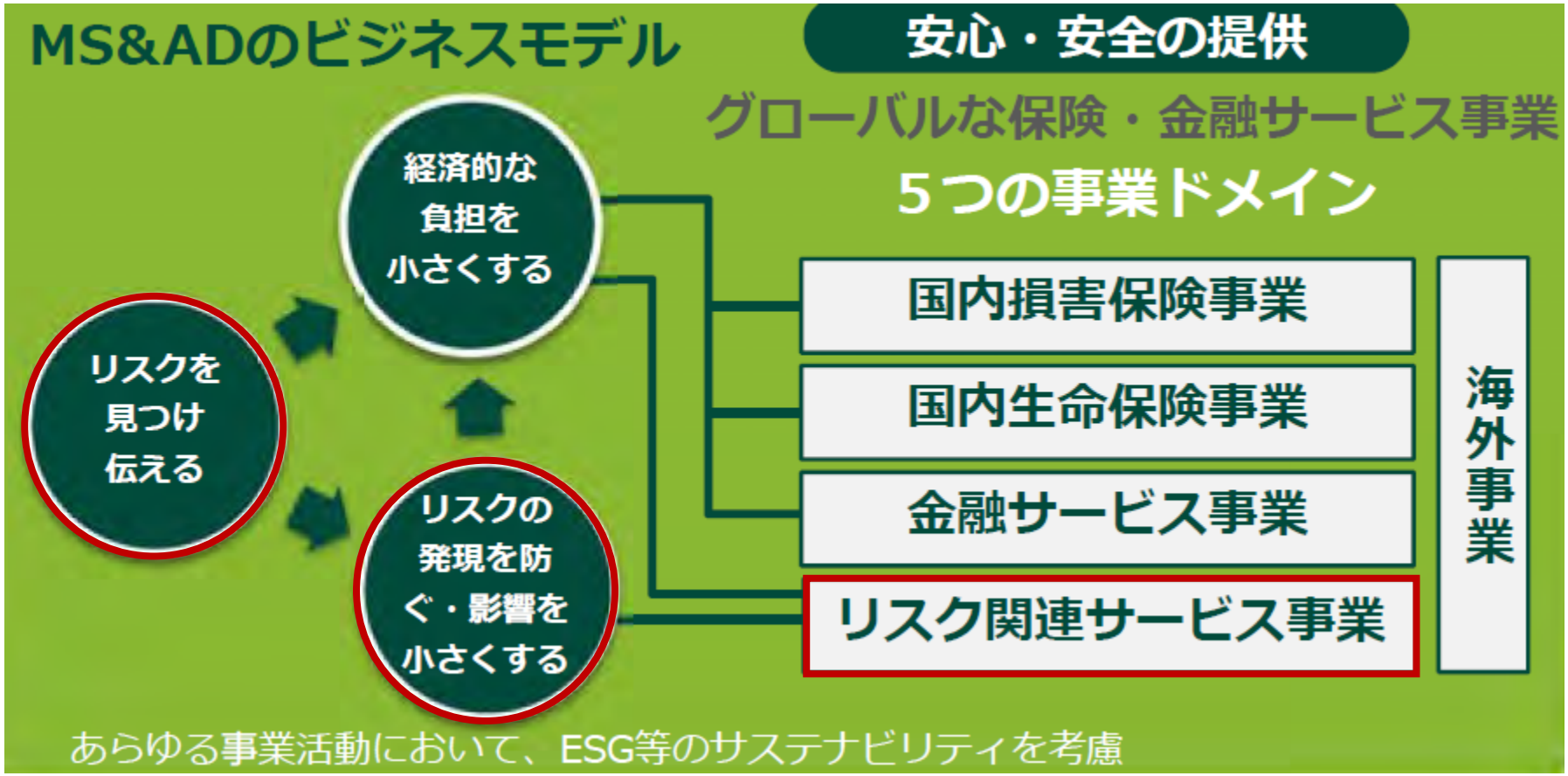
MS&AD インターリスク総研株式会社
マネジメント第三部　サステナビリティグループ　上席研究員　寺崎康介

Eに関するCSV事例として
「気候変動影響定量評価サービス」

MS&ADインターリスク総研株式会社
上席研究員　寺崎　康介

01 弊社の位置付け

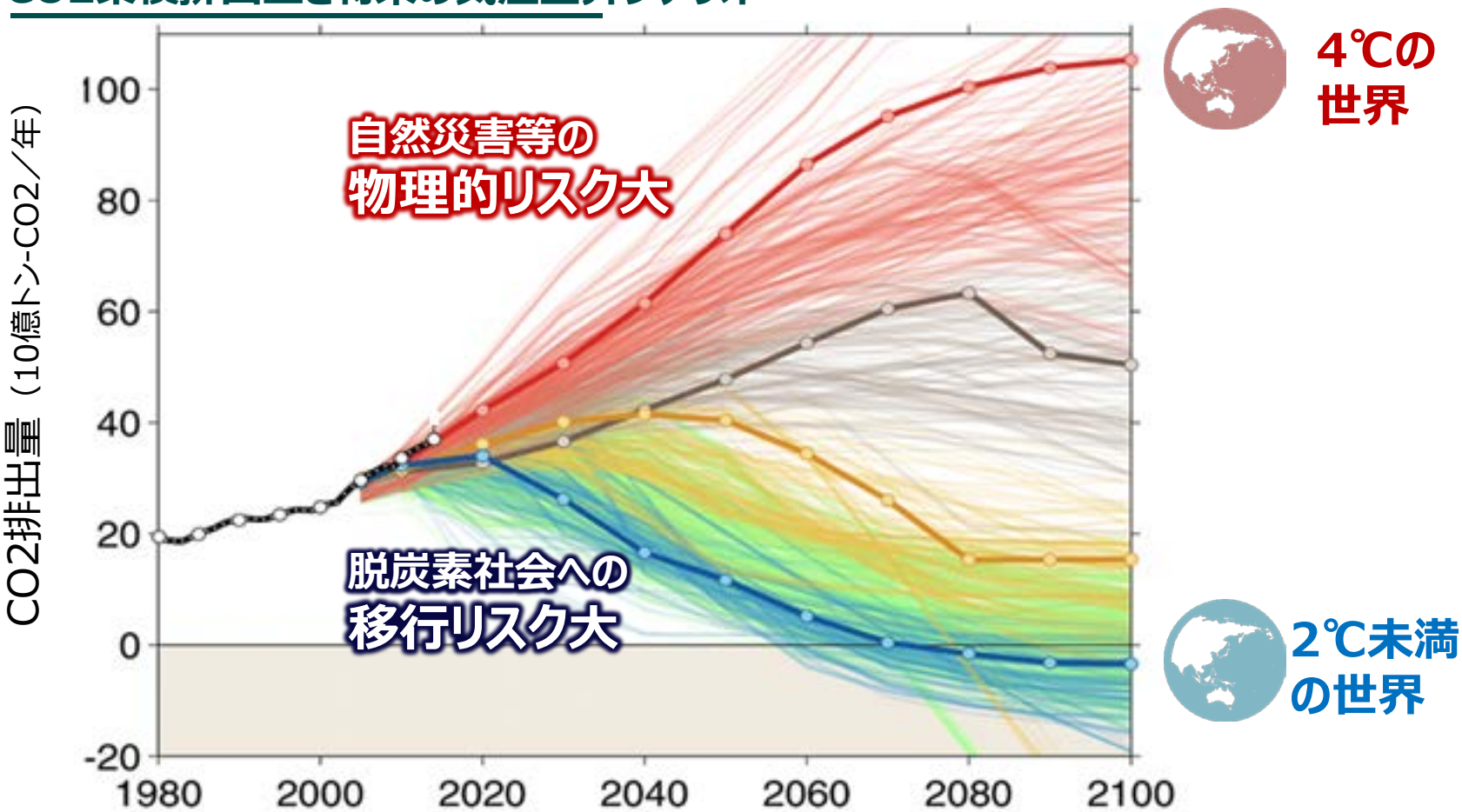
MS&ADインターリスク総研は、リスクコンサルティング事業を通じて、顧客の「リスクを見つけ伝える」、「リスクの防ぐ・影響を小さくする」支援を行っています。



02 背景 - 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）-

TCFDの推奨事項の1つとして、企業は複数の将来シナリオについて、事業への影響を評価することが求められる。

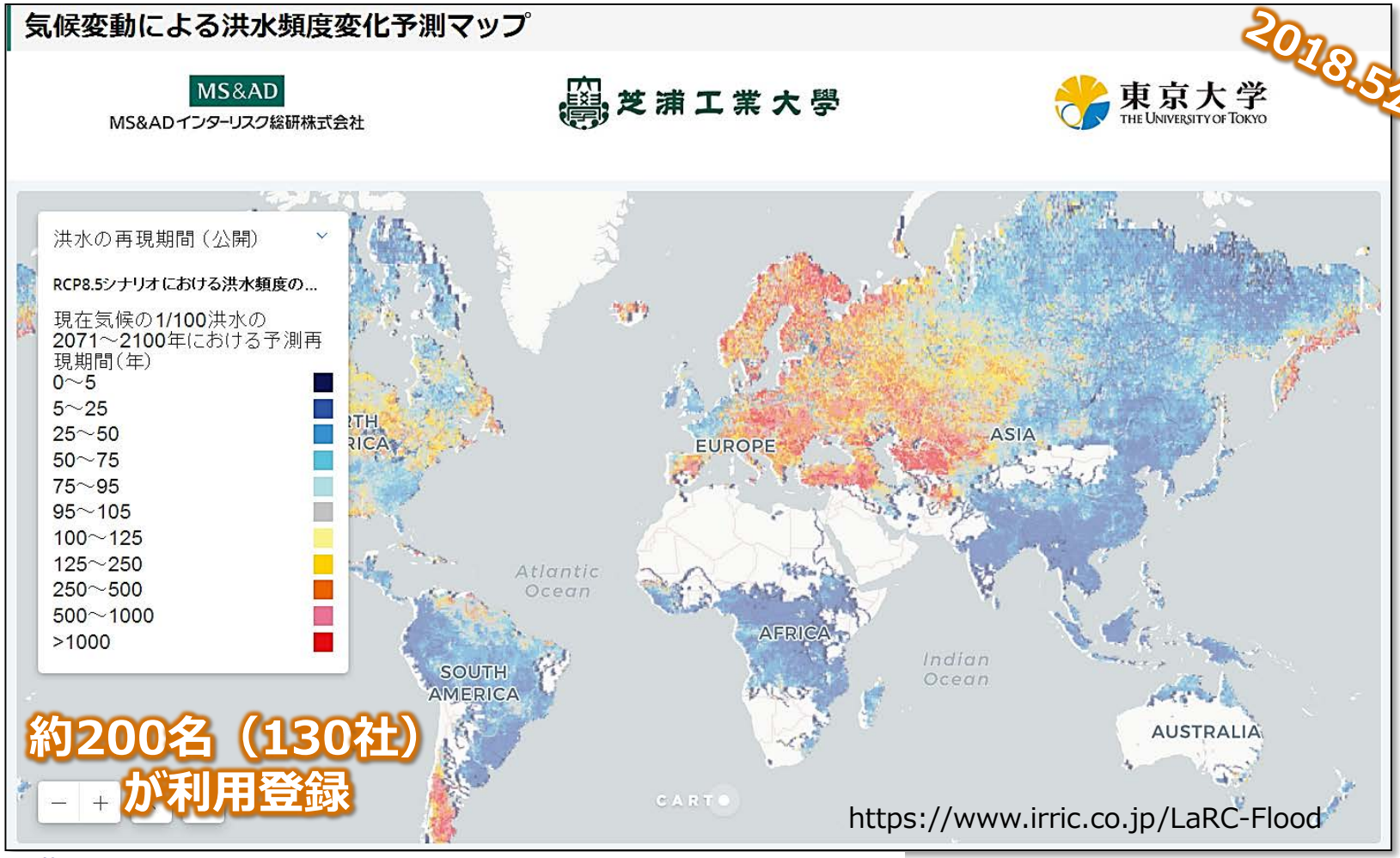
CO2累積排出量と将来の気温上昇シナリオ

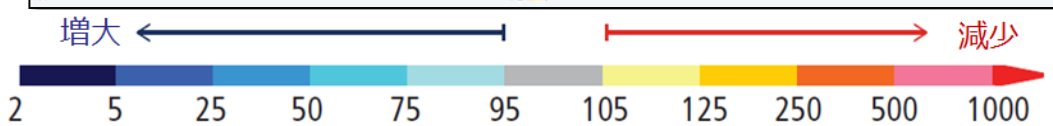


（出典：IPCC-AR5の図に加筆）

03 洪水頻度変化予測マップ

これまでも物理的リスクの評価ツールを一般向け提供している。





Hirabayashi Y, Mahendran R, Koirala S, Konoshima L, Yamazaki D, Watanabe S, Kim H and Kanae S (2013) Global flood risk under climate change. Nat Clim Chang., 3(9), 816-821. doi:10.1038/nclimate1911.

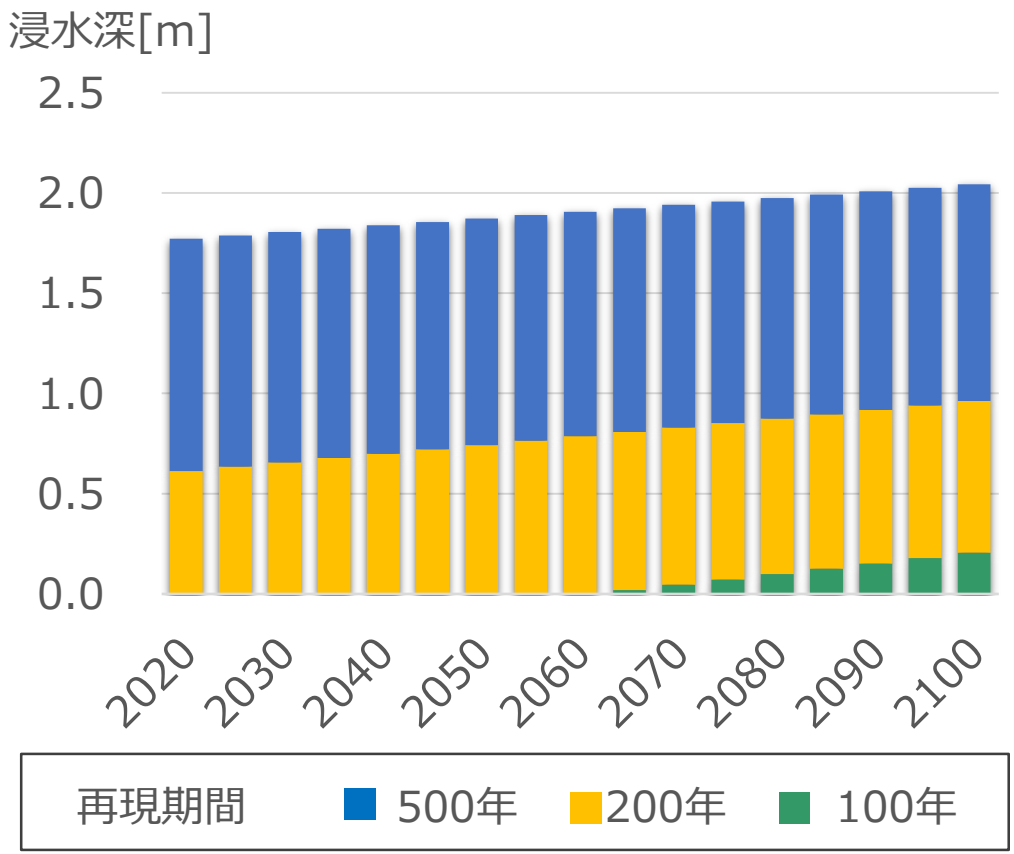
04 サービス概要 - 気候変動 自然災害リスク定量評価-

2020年7月にリリース。日経朝刊1面で報道される。

基本仕様

- 地理的範囲　全世界
- 解像度　90m
  ※日本は10m地形データを使用
- 時間軸　2020～2100年
- シナリオ　3種
  (4℃、2.5℃、1.6℃)
- 対象ハザード　９種類

4℃シナリオ（RCP8.5）における某拠点の浸水深

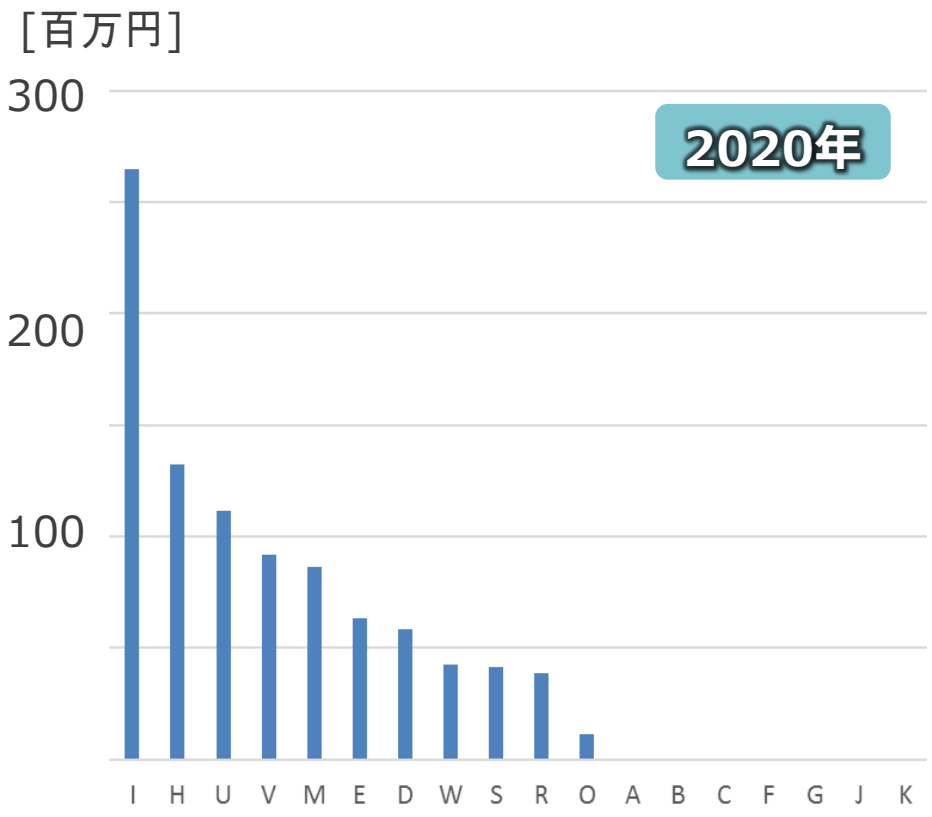


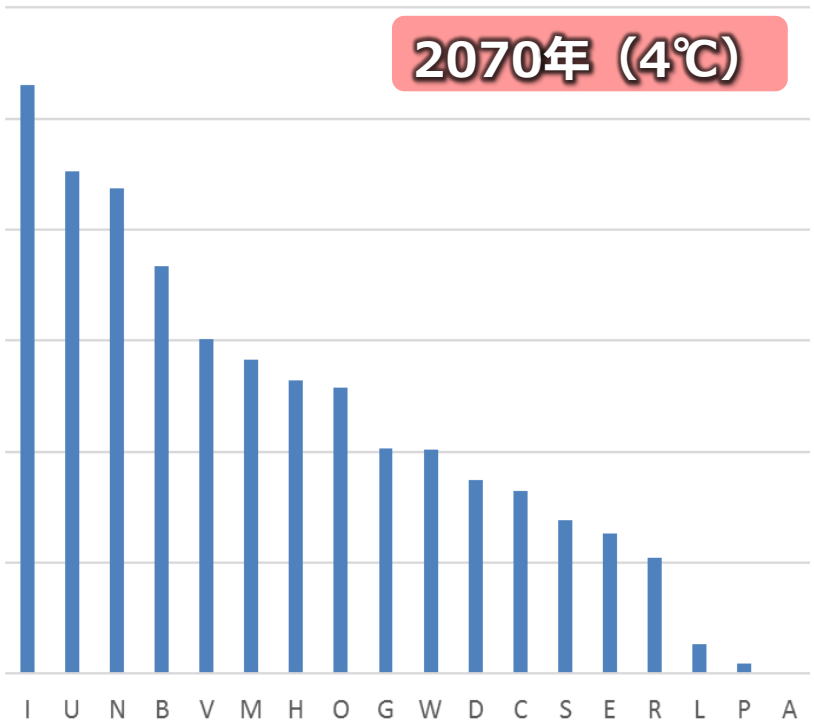
MS&AD Venturesの出資先　米Jupiter Intelligence社と連携。

05 評価事例 - 気候変動 自然災害リスク定量評価-

一部ハザードについては、当社ノウハウを活かして想定被害額の算定も実施。

23拠点の200年河川洪水による想定被害額





大幅なロスの増加が想定される。

06 気候関連コンサルサービス体系

既存の全社的なシナリオ分析から、一歩踏み込んだ詳細分析の位置付け。

簡易・
全社的

詳細・
拠点別

現場・本社
の具体的な
自然災害
対策支援

2018.7正式リリース　既に20社程度を支援

定性的シナリオ分析

全社的に移行・物理的リスクを評価し、
戦略策定を支援

定量的シナリオ分析

一部の重要なリスクの財務影響について、
移行・物理的リスクを大まかに定量化

2020.7

自然災害リスク定量評価

拠点の気候変動下の自然災害
リスク指標／財務影響を評価

既存

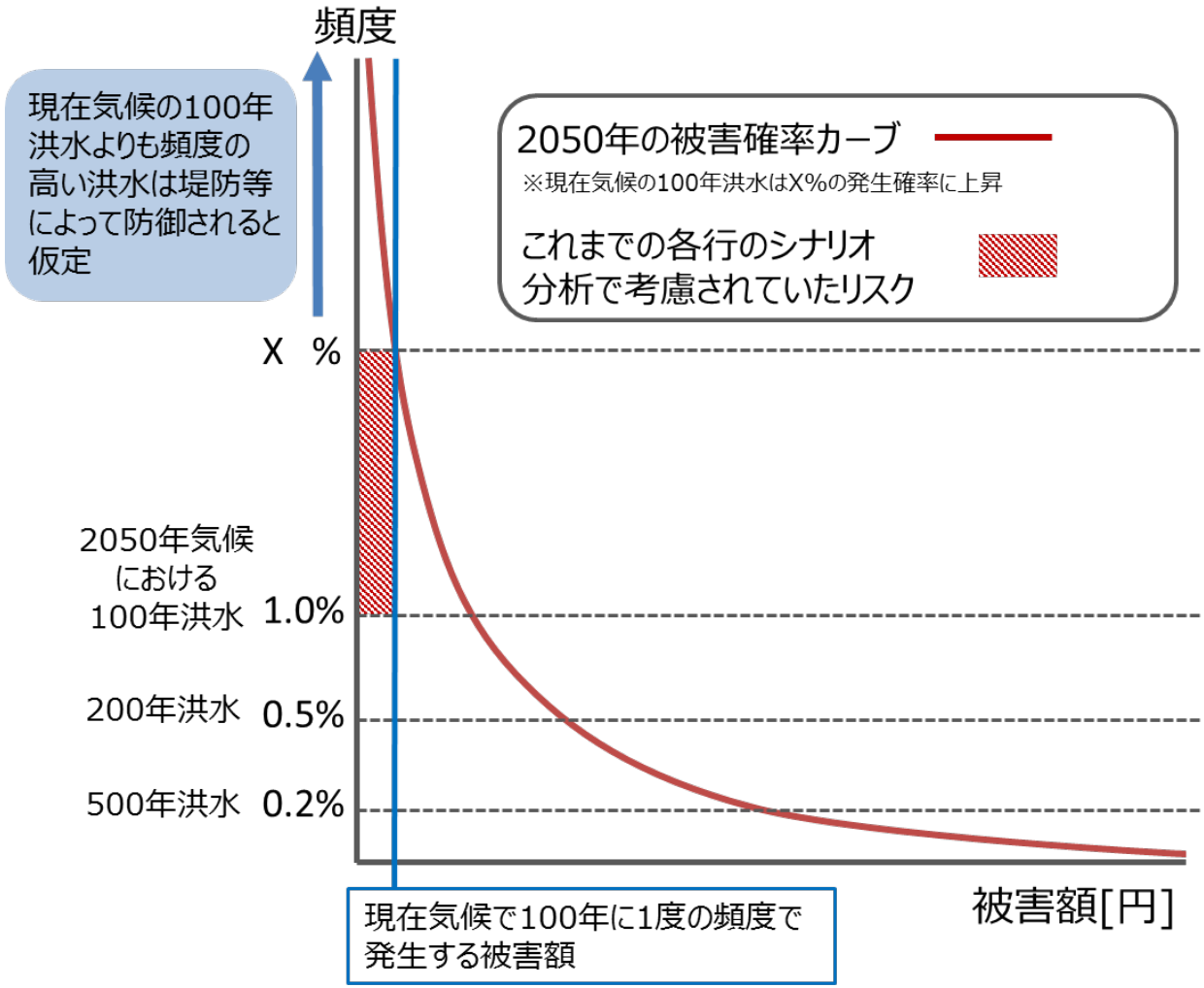
水災シミュレーション、
現地サーベイ

水災BCP構築支援、タイムライン
防災支援（スイサーチ）

**新サービスは
既に70社以上から引き合い。**

07 金融機関向けサービスの整備

銀行の融資ポートフォリオを想定し、水災による被害額期待値を推計。



将来のリスク増加量算定

↓

各行の信用モデル

↓

与信関係費用の算定

これまでも数行の分析を支援したが、より詳細かつグローバルな分析が可能に。

08 今後の展望

気候変動コンサル関連の規模は3年間で急増。

サービス展開面

- 現場の自然災害対策支援までのワンストップのサービス提供
- 他社との差別化要素としての保険営業とのさらなるシナジー
- サービス提供体制（人材等）の強化
- 自社グループ内での活用推進

技術面

- モデルのさらなる精度向上
- 投融資分析のブラッシュアップ
- 物理的リスクに起因する、より複雑なリスク領域への拡大

ご清聴ありがとうございました

Mitsui Sumitomo Insurance
MS&AD InterRisk Research & Consulting
MS&AD INSURANCE GROUP

MS&ADインターリスク総研株式会社
リスクマネジメント第三部　サステナビリティグループ

〒101-0063　東京都千代田区神田淡路町2-105
ワテラスアネックス
Tel：03-5296-8913／Fax：03-5296-8941
http://www.irric.co.jp/

Ⅲ. コーポレートガバナンス

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
代表取締役専務執行役員　グループCFO
樋口　哲司
社外取締役（独立役員）
有馬　彰

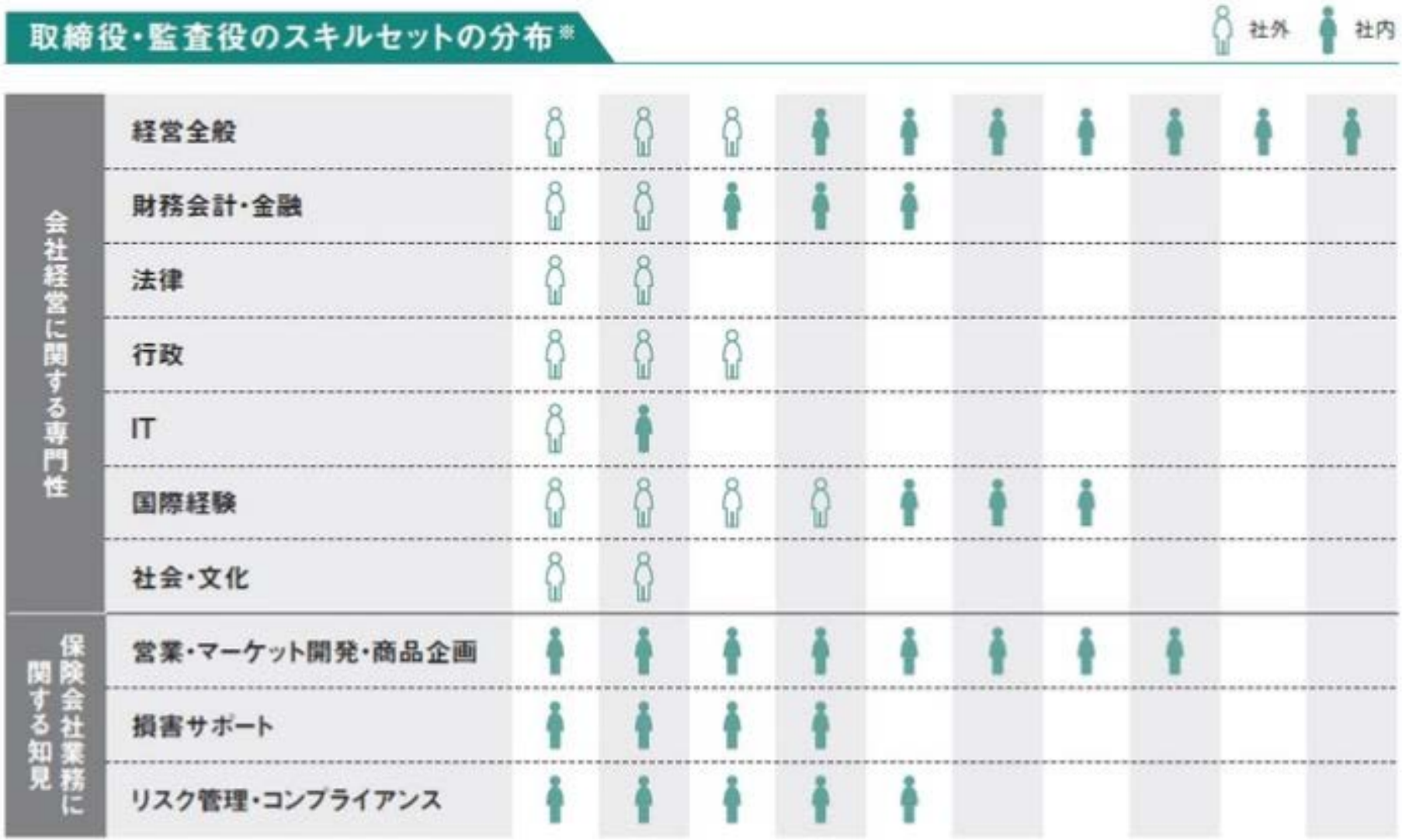
取締役会メンバー

社外役員比率 44%

女性役員比率 25%

取締役・監査役のスキルセット

取締役・監査役のスキルセットの分布※



※各取締役・監査役の職歴や選考理由等に基づき、知識・経験・能力等にかかわる項目を設定して、それらに該当する人数をプロットしたものです。

CEOサクセッションプラン

CEO選任のプロセス

CEOによる推薦

- CEOは複数の候補者に優先順位をつけ推薦
- 候補者には当社グループ内出身者に加え、当社グループ外の人財を含めることができる

人事委員会の審議

委員長：有馬取締役（社外）
柄澤取締役会長、金杉取締役副会長、原取締役社長、
坂東取締役（社外）、池尾取締役（社外）、
飛松取締役（社外）、カップ取締役（社外）

- 社外取締役は、別の候補者を推薦できる

取締役会の決議

- 人事委員会は取締役会に助言を行い、取締役会の決議により決定

CEO選任基準

- グループの経営理念（ミッション）・経営ビジョン・行動指針（バリュー）を体現し、社会との共通価値の創造（CSV）の実現に高い価値観を有している。
- 将来ビジョン構想力、構築力を備えている。

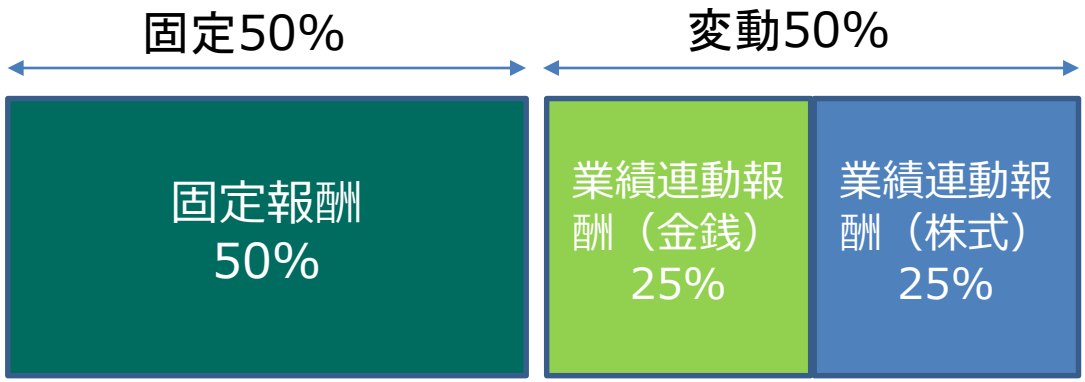
- 公平・公正さを備えている。
- 人財育成力を有している。
- リーダーシップが発揮できる。
- グローバルな対応力を有している。
- グループベストを行動の基本としている。

役員報酬制度：報酬の構成

- 固定報酬と業績連動報酬で構成する。社外取締役及び監査役は固定報酬のみ。
- 業績連動報酬の割合は、役位に応じて報酬総額の50%～30%を標準とする。また、業績連動報酬は金銭報酬と株式報酬で構成し、株式報酬の割合は、役位に応じて報酬総額の9%～25%を標準とする。

報酬の構成	固定報酬	業績連動報酬	
		金銭報酬	株式報酬
取締役（社外取締役を除く）	○	○	○
社外取締役	○	―	―
監査役	○	―	―

報酬構成比率のイメージ（取締役会長・取締役社長の場合）



役員報酬制度：重要業績評価指標（ＫＰＩ）

- 財務指標と非財務指標の割合は「50:50」を標準とし、標準1.0に対して財務指標は0～3.0、非財務指標は0.5～1.5の幅で変動する。
- 株式報酬は、譲渡制限付株式による支給とし、原則として役員退任時に譲渡制限を解除する。

財務指標（単年度業績）	非財務指標（中長期業績）
• グループ修正利益 • 連結当期純利益 • グループ修正ROE	• SDGsを道標とした社会との共通価値の創造（CSV）に向けた取り組み「サステナビリティ重点取組」の達成状況 • グループ中期経営計画「Vision2021」に掲げた「重点戦略」（グループ総合力の発揮、デジタライゼーションの推進、ポートフォリオ変革）の達成状況

2019年度実績

【財務指標】
- グループ修正利益は、2,206億円の計画に対して、実績は2,331億円となりました。
- 連結当期純利益は、1,980億円の計画に対して、実績は1,430億円となりました。
- グループ修正ROEは、7.1%の計画に対して8.0%となりました。

【非財務指標】
- 上記サステナビリティ重点課題７項目及び重点戦略３項目のそれぞれの取組みについて５段階評価を行い、総合的に標準を上回る評価となりました。

立ちどまらない保険。

MS&AD

INSURANCE GROUP

予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS＆ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。
実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

お問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
広報・IR部

Tel: 03-5117-0311
URL: https://www.ms-ad-hd.com/ja/index.html